

愛犬の困った行動

Q & A



ペットの行動コンサルテーション Heart Healing For Pets
日本アニマルハートヒーリングケア協会代表

石井 香絵

Case
168

心疾患を持つチワワの攻撃行動と葛藤行動

13歳になるチワワ(雌、仮名：サラ)の、自分の尾を追いかける行動が目立つようになってきました。止めさせようとする手と手を噛んできます。サラは生後1歳10か月齢で私の家族になりましたが、それまで2回家族が変わっています。

3～4歳頃から家族に対して唸ったり、噛みついたりするようになりましたが、家族が大きな怪我を

負うこともなかったため、13歳になるまで特に対処してきませんでした。先日、動物病院の検査で心疾患があることがわかり、心臓のために穏やかに暮らしてほしいと考え、このタイミングでカウンセリングをお願いしました。アドバイスどうぞよろしくお願い致します。

回答

サラちゃんは眠い時に起こされる、ご家族の都合で触られる、こたつの中で休んでいるときに家族の誰かがこたつの布団をめくったり、足を入れたりする際に唸ったり噛みついたりすることが多く、唸った後に自分の尾を追うしぐさをするようになったそうです。興奮し何度も尾を追いかけるため、息が切れて呼吸が乱れ、苦しくなるようです。

サラちゃんの攻撃行動や尾を追いかける葛藤行動は、現在のご家庭に迎え入れてから1年以上経過し

てから見られるようになりました。このことから、これらの行動は現在のご家族とサラちゃんとのミスコミュニケーションにより生じた問題だということが分かります。またシニアになったサラちゃんにとっては脳内の神経伝達物質のアンバランス、関節炎など体に生じる痛みが原因で苛立ちや攻撃的な行動が増える傾向になります。

触れられたり、構われ過ぎることを苦手とするサラちゃんの気持ちを理解することがもっとも大切な改善策になります。



アドバイス対処法

若い犬であれば、トレーニングや接し方を変えることでご家族との適切な関係を再構築させ、攻撃性を改善していきます。サラちゃんは13歳と高齢のため、このような一般的な対処法はせず、サラちゃんがどのようなことをされたらいやなのかを明確に理解し適度な距離や接し方を考慮していくことがとても大切です。

- ① 寝ているところに近づいて触れたり、抱っこしたりしない

ご家族が出勤前にサラちゃんにどうしても食事を与えたいため(ご家族の都合)、こたつの中で眠っているサラちゃんを無理やり引っ張り出して食事を与えていたそうです。眠いところを起こされる不愉快さは人も犬も同じです。特に食が細いサラちゃんにとっては起こされた後になにも楽しいことが待っていないのでなおさらです。寝ているときは重要な理由がない限り起こさない、どうしても起こさなければいけない場合は近くに寄らず遠くから声をかけて起こし、おいしいトリーツを見せて、サラちゃん自ら近づいてきてもらうようにします。